

## 平成 30 年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■自主研究 1	公益目的事業 11
主査名	西田 泰 公益財団法人交通事故総合分析センター特別研究員兼研究第一課長	
研究テーマ	外国人及び余暇活動中の交通事故に関する研究	
<p>2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催を迎える中、政府の外国人観光客の受け入れ拡大政策により、近年外国人旅行者は急増しており、それに伴い外国人旅行者による交通事故も増加している。事故には、歩行中や自転車利用中だけでなく、レンタカー運転中のものもあり、被害者の立場だけでなく加害者の立場からの事故対策の必要性も出てきている。運転頻度当り事故率をみると、日本人、在日外国人、訪日外国人の順で高くなっており、日本の道路交通環境への順応を早める適切な交通安全情報を提供することが、外国人による事故防止に寄与すると考えられる。</p> <p>また、青壮年に比べて余暇時間の多い高齢者は、観光を含めた余暇活動での道路利用割合が高くなっており、今後、高齢者人口の増加に伴い、高齢者の余暇活動中の交通事故も増加すると考えられる。特に、高齢者の運転免許保有率の上昇に伴い、自動車運転中事故の割合も上昇しており、日常生活行動だけでなく余暇活動での運転中の事故防止策の必要性は高い。</p> <p>そこで、交通事故統計データ等を分析することで、外国人観光客を含めた余暇活動中の交通事故防止策に資することを目的として、①余暇活動中交通事故の特徴、②観光目的の訪日外国人の交通事故の特徴、③観光目的の日本人と訪日外国人の交通事故特性の比較、④ 訪日外国人、居住外国人及び日本人の交通事故特性の比較の観点から、交通事故当事者の状態（自動車運転中、自動車同乗中、自転車乗用中、歩行中等）、通行目的（業務、観光・娯楽・散歩、その他の私用等）、国籍・居住状況（日本人、永住権のある外国人、居住外国人、訪日外国人）等を考慮した交通事故分析を行う。</p>		